科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 9 日現在

機関番号: 14301

研究種目: 基盤研究(A)(一般)

研究期間: 2015~2019

課題番号: 15H01690

研究課題名(和文)社会脳を創発するソーシャル・インタラクション:二つの脳の融合に向けて

研究課題名(英文)Social Interaction to Emerge the Social Brain: Toward the Fusion of Two BrainsStudy of social brain using hyperscanning

研究代表者

苧阪 直行(Osaka, Naoyuki)

京都大学・文学研究科・名誉教授

研究者番号:20113136

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 33,200,000円

研究成果の概要(和文): 社会脳(social brain)の動作メカニズムを前頭・頭頂・側頭葉などと、そのネットワークの働きから解明し、健全で豊かな社会脳の働きとその適応障害の仕組みを探求した。複数の被験者が協調して課題を達成する際の社会脳のダイナミックな相互作用を観察できる革新的なハイパースキャニング(hyperscanning)法などを導入し、「複数の脳がひとつの心」になる過程を機能的近赤外分光法(fNIRS)等を中心に検討した。同時に、機能的磁気共鳴画像法(fMRI)などの脳イメージング法によって適応不全をもつ社会性疾患の患者を社会脳ネットワークの機能不全から検討し、適応障害の予防や改善の方法を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義自己や他者と社会を結ぶのが「社会脳」である。社会適応を育む健全で豊かな社会性は社会脳の働きとその仕組みを検討することで可能となる。社会脳と呼ばれる新たな学問は、心理学をはじめとする人文社会科学との協働が必須であるため研究が遅れている。社会脳は、他者と協調する過程を通して豊かな社会性を生み出す心の働きをもつ。古代ギリシャの哲学者ソクラテスは自己自身を知れと述べ、またアリストテレスは、人間を社会的動物であると述べている。社会的相互作用を通して、自己を知り他者を理解すること、あるいは健常者と社会適応不全の人々の心の比較を通して協調する心の脳内基盤を検討することは大きな社会的、学術的意義をもっている。

研究成果の概要(英文): We have elucidated the operating mechanisms of the social brain, including the frontal, parietal, and temporal lobes, and their networks, and explored the healthy and rich functioning of the social brain and the mechanisms of its adaptive disorders. For this purpose, we introduced the innovative hyperscanning (hyperscanning) method, which enables us to observe the dynamic interaction of the social brain when multiple subjects cooperate to accomplish a task, and examined the process of "multiple brains becoming one mind," mainly using functional near-infrared spectroscopy (fNIRS). At the same time, we examined social disorders such as schizophrenia from the perspective of dysfunctional social brain networks using brain imaging methods such as functional magnetic resonance imaging (fMRI), and investigated ways to prevent and improve adjustment disorders.

研究分野: 実験心理学

キーワード: 社会脳 ハイパースキャニング 複数脳の協調的融合 機能的近赤外分光法(fNIRS) 機能的磁気共鳴画像法(fMRI)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

脳というわずか 1.5 リットルの小宇宙は 1000 億の膨大な神経細胞 (ニューロン)が 広域のネットワークを形成し、ヒトに固有な認知的あるいは社会的意識を形成し、適応 的な行動を生みだしている。動物を用いた脳の研究は著しく進展したが、社会適応、文化、道徳や宗教などを担うヒトの「社会脳(social brain:以下 SB と略)」の研究は、人文社会科学との協働が必須であるため研究が大幅に遅れている。社会は自己と他者が 協調することで進化発展し、豊かな社会性を育んできた。社会が複雑になるにつれて社会性を育む脳の前頭葉の体積が増加してきたと考えられる(社会脳仮説)。

SB は、豊かな社会性を生み出す重要な働きをもつ。古代ギリシャの哲学者、ソクラテスは自己自身を知れと述べ、またアリストテレスは、人間を社会的動物であると述べている。自己を知り他者を理解することで、自己と社会を結ぶのが SB である。自己を知る脳や他者を理解する脳の働きは、前頭葉の内側、外側面や、注意の維持とかかわる頭頂葉の働きと協調して、社会脳ネットワークを形作っていることが最近のヒトの脳の広域脳ネットワークの先端研究で明らかになってきた。 SB の探求には、新しい人文社会科学、先端脳科学や情報学等が融合した融合社会脳科学が必要とされている。すでに、日本学術会議でも提言「融合社会脳研究の創生と展開」(平成 29 年)が発出され、この新たな学問分野の開拓の重要性が指摘されている。

目的の達成行動には意識的な注意の実行系が関与するワーキングメモリネットワーク (WMN)が働くが、目的がなく脳が休んでいる時にも無意識で活動するデフォールトモードネットワーク (DMN)などが見出されている。何もしていない時も脳は活動を停止しているのではなく、他者や自己さらに社会をめぐって様々な想像を思いめぐらせ、活発に働いていることが resting-state 状態の脳活動の計測から明らかになっている。 WMN が前頭葉皮質の外側面と頭頂葉の連携で作動しているのに対して、 DMN は反対に前頭葉皮質の内側面を中心に作動していることもわかってきた。大まかな捉え方をすれば、 WMN と DMN がいわば外的適応と内的適応を担っていると推定される。 つまり、自他の認識やそのメタ認識は DMN を中心とした社会脳ネットワークが関わっていると考えることができる。

2.研究の目的

(1) このような研究の進展を背景として、まず、SBの研究をさらに、二人の被験者が合唱(WMNの働きを含む)などの協調活動を通してソーシャル・インタラクション(社会的相互作用)させた場合の脳活動を検討した。人々は社会環境の変化に適応して生き残るため協力してきたが、協力を導く共感意識の形成過程とその脳内機構は未解明である。ヒトはなぜ協力するのか?その理由は、志向性の共有、つまり自他間で一つの目的の達成に向けて、意図を共有し心を接続し合うことにあると考えられる。例えば、古代から祭祀における踊りや共に歌うことは人々に身体的共感や音声的同調のリズムの共有を生み、複数の人々に共感や協調、そして社会性の心を育んだと考えられる。協調行動下での二人の脳活動の時間的同期がどの様に脳内で調整されているかという問題である。自他が新たな協調的適応行動に向けて動きはじめると、互いの

心を創発的に協調させ、支え合い、さらには豊かな社会性を育む脳の働きにも展開してゆくと推定される。このような研究のアプローチには、体を動かしても脳活動が非侵襲的に測定できる脳イメージング法として機能的近赤外分光法(fNIRS)が向いている。二名の実験参加者を対象とした fNIRS による同時的ハイパースキャニングがこの目的に最適であると考えられる。

(2)以上のような二人のインタラクションを介したダイナミックな協調行動の検討と並行して、特定の課題負荷のもとで単独の個人及び社会的適応不全者が示す脳活動の観察も SB 研究に資することは明らかである。単独の健常者や適応不全者の社会脳活動を比較検討し、豊かな社会性を導く SB の活動を阻む社会的適応不全の脳内メカニズムも同時に検討される必要がある。

研究開始当初の背景には、スマート社会(Society5.0)、つまり現代の高度情報化社会における自己と他者、あるいは社会の間に生じているストレスを生みだす社会問題がある。現実社会と仮想社会の融合がもたらすストレスもこれに含まれよう。一般的には、社会的適応不全の例として、いじめ、引きこもり、依存症(プロセス依存症を中心とするスマホやゲーム依存症)があり、さらに、統合失調症、自閉スペクトラム症、軽度認知症を含む適応不全の予防や改善の方法を探ることも健全な SB の回復(レジリエンス)の手立てとして重要である。

3.研究の方法

- (1) 目的(1)では、二人の被験者が協力して行うソーシャル・インタラクションをさせる方法として独自に工夫した研究技法であるハイパースキャニングを用いた。この方法では、共通の目標を追求する手立てとしてソーシャル・インタラクションを取り入れ、その間の相互の脳の活動を fNIRS を用いて検討した。これによって協力・協調行動における相互の脳のダイナミックな活動をリアルタイムで計測することが可能となる。この方法によって、自己と他者間の複数の脳が協調行動を通して次第に時間的に同期し協調のリズムが形成されてゆく様相が観察できると思われる。
- (2) 目的(2)では、単独の健常者及び社会適応不全者を対象に SB と関わる様々な課題のもとでの脳活動を観察した。ここでは、機能的磁気共鳴画像法 (fMRI) 経頭蓋直流刺激法 (tDCS)、脳波などの脳イメージング法によって社会性を担う脳内ネットワークを解明することを目指した。

4. 研究成果

- (1)研究方法(1)で述べたように、二名の実験参加者を対象とした fNIRS による同時的ハイパースキャニングによって、合唱などの協調課題を行う際の脳の同期的活動を観察した。その結果、脳活動のウェーブレット・コヒーレンス相関法 (WTC) による時系列と脳の領域ごとの血流に反映された脳活動の解析により、同期的活動には前頭葉下部領域がかかわることなどが判明した。
- (2) 研究方法(2)で述べた様々なイメージング技法を用いて、単独の健常者及び社会適応不全者を対象に SB と関わる様々な課題のもとでの脳活動を観察し fMRI 等による検討では、自己意識とかかわる自己参照課題では DMN の一部を形成する内側前頭前野の活動が認められ SB と DMN の関りが示唆された。脳の灰白質の体積が社会適応不全と関わること、前頭葉内側面が自己認識や顔の記憶と関わること、ギャンブルにおける SB の

役割がリスク評価や報酬系と関わること、パーキンソン症が側頭・頭頂接合領域の働きと関連することなどが明らかとなった。統合失調症では注意や意思決定の過程で SB が一定の役割をもつこと、また、灰白質体積の減少にも文化差による影響があること、対人恐怖症や社会不安症などの患者が認知的共感の減少を示すことが fMRI を用いた研究で示された。自己と他者が SB 内でどのように脳内表現されているかについても考察された。以上のほかにも、自閉スペクトラム症、軽度認知症などの社会適応不全の予防や改善の方法が示唆された。

以上から、SB は自己と社会を結び、豊かな社会性を生み出す重要な働きをもつことが明らかになった。分野融合を踏まえた融合社会脳の基礎研究とその展開研究を通して、健全な社会性の回復が可能となり、活き活きとした協調的で創造的な社会を創生するためにも SB の基礎的及び展開研究が必要とされていることが分かった。詳細は発表された論文、学会発表及び図書を参照されたい。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計125件(うち査読付論文 109件/うち国際共著 8件/うちオープンアクセス 37件)

1 . 著者名	4.巻
0saka, N.	
2 . 論文標題	5.発行年
An emotional neuroaesthetics of color experience.	2022年
All dilectional hearbacothetroe of cotton experience.	2022
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Psych Journal	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
カープンティとはない、人はカープンティとスが四無	
1. 著者名	4 . 巻
Yaoi, K.,Osaka, M.,& Osaka, N.	12
Taor, Tryosana, Trya Goulla, Tr	
2 . 論文標題	5.発行年
Does implicit self-reference effect occur by the instantaneous own-name?	2021年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology, section Cognitive Science	709601 ,1-9
	**** o **#
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2021.709601	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有 -
コンンノとからは多く、人間コンンノノとかの四無	.1
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名	4.巻 94
1.著者名	
—	
苧阪満里子・苧阪直行	94
・	94 5.発行年 2021年
	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
・	94 5.発行年 2021年
	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
苧阪満里子・苧阪直行2.論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3.雑誌名 脳神経内科	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8
で阪満里子・苧阪直行 2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3. 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
苧阪満里子・苧阪直行2.論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3.雑誌名 脳神経内科	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8
で阪満里子・苧阪直行 2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3. 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
で阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
で阪満里子・苧阪直行 2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3. 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
で阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	94 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
で阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著
苧阪満里子・苧阪直行2.論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3.雑誌名 脳神経内科掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
苧阪満里子・苧阪直行2.論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3.雑誌名 脳神経内科掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
苧阪満里子・苧阪直行2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3. 雑誌名 脳神経内科掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1. 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.2. 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
苧阪満里子・苧阪直行2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク3. 雑誌名 脳神経内科掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1. 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.2. 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名 Scientific Report	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 19502, 1-11
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名 Scientific Report 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 19502, 1-11
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名 Scientific Report	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 19502, 1-11
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名 Scientific Report 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 19502, 1-11
学阪満里子・苧阪直行 2 . 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク 3 . 雑誌名 脳神経内科 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N. 2 . 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks 3 . 雑誌名 Scientific Report 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-98848-2	94 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-8 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 19502, 1-11 査読の有無 無

1.著者名	4 **
	4.巻
Tsubomi Hiroyuki, Saito Satoru, Osaka Mariko, Osaka Naoyuki	90
2 - *	F 384-F
2 . 論文標題	5 . 発行年
Does working memory training enhance intelligence?	2019年
a that a	6 PM PW 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Japanese journal of psychology	308 ~ 326
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.4992/jjpsy.90.18402	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
塩川史崇・上田竜平・蘆田宏	118
2.論文標題	5 . 発行年
競合する同性の外見的魅力に基づく異性へのアプローチの調整 ~ マッチングアプリ的場面での検討 ~	2019年
THE PERSON OF TH	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
信学技報	105~109
IH J JATK	100 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無

オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンデッセスとはない、大はオープンデッセスが四無	-
1 . 著者名	4.巻
	_
Zhang Zhilin, Guo Guoxin, Zhang Jian, Li Chunlin, Huang Qiang, Go Ritsu, Fukuyama Hidenao,	143
Funahashi Shintaro, Yan Tianyi, Wu Jinglong	5 7V./= b=
2.論文標題	5 . 発行年
Do theta oscillations explain the somatosensory change detection mechanism?	2019年
3 ABAL 67	C = 171 = 14 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Biological Psychology	103 ~ 112
	į –
	本社の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsycho.2019.02.001	
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001	有
10.1016/j.bi opsycho.2019.02.001 オープンアクセス	_
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001	有
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有
10.1016/j.bi opsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao	有 国際共著 - 4.卷 24
10.1016/j.bi opsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、0ishi Naoya、Fukuyama Hidenao	有 国際共著 - 4.卷 24
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、0ishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and	有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3. 雑誌名 Journal of Biomedical Optics	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2.論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3.雑誌名 Journal of Biomedical Optics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3. 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2.論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3.雑誌名 Journal of Biomedical Optics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1117/1.JB0.24.3.031014	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11 査読の有無
10.1016/j.biopsycho.2019.02.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Suzuki Takashi、Oishi Naoya、Fukuyama Hidenao 2.論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats 3.雑誌名 Journal of Biomedical Optics	有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11

	T
1 . 著者名 Nishida Sei、Aso Toshihiko、Takaya Shigetoshi、Takahashi Yuki、Kikuchi Takayuki、Funaki Takeshi、Yoshida Kazumichi、Okada Tomohisa、Kunieda Takeharu、Togashi Kaori、Fukuyama Hidenao、 Miyamoto Susumu	4.巻 85
2.論文標題 Resting-state Functional Magnetic Resonance Imaging Identifies Cerebrovascular Reactivity Impairment in Patients With Arterial Occlusive Diseases: A Pilot Study	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6 早知レ早後の百
3 ・雅藤石 Neurosurgery	6 . 最初と最後の頁 680~688
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1093/neuros/nyy434	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Ubukata Shiho、Oishi Naoya、Sugihara Genichi、Aso Toshihiko、Fukuyama Hidenao、Murai Toshiya、 Ueda Keita	4.巻 36
2.論文標題 Transcallosal Fiber Disruption and its Relationship with Corresponding Gray Matter Alteration in Patients with Diffuse Axonal Injury	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Journal of Neurotrauma	6 . 最初と最後の頁 1106~1114
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左征
掲載論又のDDT (デンタルオフジェクト識別子) 10.1089/neu.2018.5823	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Nakaoku Yuriko、Oishi Naoya、Hase Yoshiki、Hase Mai、Saito Satoshi、Mitsueda Takahiro、Matsui Masaru、Toyoda Kazunori、Nagatsuka Kazuyuki、Kalaria Raj N.、Fukuyama Hidenao、Ihara Masafumi、 Takahashi Ryosuke	4.巻 174
2.論文標題 Montreal Cognitive Assessment score correlates with regional cerebral blood flow in post-stroke patients	
3.雑誌名 Clinical Neurology and Neurosurgery	6.最初と最後の頁 68~74
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2018.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong	4 . 巻 11
—	_
Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory	5 . 発行年
Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	11 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 662
Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名	11 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁

1 . 著者名 Ishibashi Ryo、Mima Tatsuya、Fukuyama Hidenao、Pobric Gorana	4.巻 11
2.論文標題 Facilitation of Function and Manipulation Knowledge of Tools Using Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS)	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Frontiers in Integrative Neuroscience	6.最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2017.00037	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Fujiwara Hironobu、Yoshimura Sayaka、Kobayashi Kei、Ueno Tsukasa、Oishi Naoya、Murai Toshiya	4.巻 12
2.論文標題 Neural Correlates of Non-clinical Internet Use in the Motivation Network and Its Modulation by Subclinical Autistic Traits	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6.最初と最後の頁 493
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2018.00493	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4	I 4 24
1 . 著者名 Ueno Tsukasa、Oishi Naoya、Murai Toshiya	4.巻
2 . 論文標題 Sex-specific regional grey matter volume correlates of daily activities	5.発行年 2018年
3.雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁 9935
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-28252-w	 査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u> </u>
1.著者名 吉村貴子・苧阪満里子	4.巻 246
2 . 論文標題 Working memoryとその評価	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Monthly Book Medical Rehabilitation	6.最初と最後の頁 43~48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
	45
Lin Yu Ying、Holmqvist Kenneth、Miyoshi Kiyofumi、Ashida Hiroshi	45
2.論文標題	5.発行年
Effects of detailed illustrations on science learning: an eye-tracking study	2017年
つ ht÷t・タ	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	0.取例と取後の貝
Instructional Science	557 ~ 581
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11251-017-9417-1	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
4	4 **
1.著者名	4 . 巻
Ueda Ryuhei, Yanagisawa Kuniaki, Ashida Hiroshi, Abe Nobuhito	236
The state of the s	
2 . 論文標題	5.発行年
Executive control and faithfulness: only long-term romantic relationships require prefrontal	2018年
	2010-
control	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Experimental Brain Research	821 ~ 828
日本**^~	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00221-018-5181-y	有
10.1001/1000EE1 010 0101 y	"
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カーフファフ にかしはない、 入はカーフファフ に入が 四乗	-
1.著者名	4
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito	4.巻 28
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito	28
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題	5 . 発行年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito	28
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題	5 . 発行年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance	28 5.発行年 2017年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance	28 5.発行年 2017年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848 オープンアクセス	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2. 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3. 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848 オープンアクセス	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 -
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 -
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.00000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2.論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2.論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2.論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2. 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3. 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3. 雑誌名	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2.論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2. 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3. 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3. 雑誌名	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2. 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3. 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3. 雑誌名	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2.論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3.雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2.論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3.雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00662	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662 査読の有無 有
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00662 オープンアクセス	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662
Yoneda Mei、Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Abe Nobuhito 2 . 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance 3 . 雑誌名 NeuroReport 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yu Yinghua、Yang Jiajia、Ejima Yoshimichi、Fukuyama Hidenao、Wu Jinglong 2 . 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition 3 . 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00662	28 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 879~883 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 662 査読の有無 有

1 . 著者名 Ishibashi Ryo、Mima Tatsuya、Fukuyama Hidenao、Pobric Gorana	4.巻 11
2.論文標題 Facilitation of Function and Manipulation Knowledge of Tools Using Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS)	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Frontiers in Integrative Neuroscience	6.最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2017.00037	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Satow Takeshi、Aso Toshihiko、Nishida Sei、Komuro Taro、Ueno Tsukasa、Oishi Naoya、Nakagami Yukako、Odagiri Masashi、Kikuchi Takayuki、Yoshida Kazumichi、Ueda Keita、Kunieda Takeharu、 Murai Toshiya、Miyamoto Susumu、Fukuyama Hidenao	4.巻 9
2.論文標題 Alteration of Venous Drainage Route in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Normal Aging	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6.最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2017.00387	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Takaya Shigetoshi、Sawamoto Nobukatsu、Okada Tomohisa、Okubo Gosuke、Nishida Sei、Togashi Kaori、Fukuyama Hidenao、Takahashi Ryosuke	4.巻 47
2.論文標題 Differential diagnosis of parkinsonian syndromes using dopamine transporter and perfusion SPECT	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Parkinsonism & Related Disorders	6.最初と最後の頁 15~21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2017.11.333	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Altmann Christian F.、Ueda Ryuhei、Bucher Benoit、Furukawa Shigeto、Ono Kentaro、Kashino Makio、Mima Tatsuya、Fukuyama Hidenao	4 .巻 159
2.論文標題 Trading of dynamic interaural time and level difference cues and its effect on the auditory motion-onset response measured with electroencephalography	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Neurolmage	6.最初と最後の頁 185~194
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2017.07.055	直読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Kobayashi Katsuya、Matsumoto Riki、Matsuhashi Masao、Usami Kiyohide、Shimotake Akihiro、Kunieda Takeharu、Kikuchi Takayuki、Yoshida Kazumichi、Mikuni Nobuhiro、Miyamoto Susumu、Fukuyama Hidenao、Takahashi Ryosuke、Ikeda Akio	
2.論文標題 High frequency activity overriding cortico-cortical evoked potentials reflects altered excitability in the human epileptic focus	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Clinical Neurophysiology	6.最初と最後の頁 1673~1681
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.06.249	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Altmann Christian F.、Ueda Ryuhei、Furukawa Shigeto、Kashino Makio、Mima Tatsuya、Fukuyama Hidenao	4.巻
2.論文標題 Auditory Mismatch Negativity in Response to Changes of Counter-Balanced Interaural Time and Level Differences	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6.最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Aso Toshihiko、Jiang Guanhua、Urayama Shin-ichi、Fukuyama Hidenao	4.巻 11
2.論文標題 A Resilient, Non-neuronal Source of the Spatiotemporal Lag Structure Detected by BOLD Signal-Based Blood Flow Tracking	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6.最初と最後の頁 256
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00256	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Yamawaki Rie、Nakamura Kimihiro、Aso Toshihiko、Shigemune Yayoi、Fukuyama Hidenao、Tsukiura Takashi	4.巻 38
2.論文標題 Remembering my friends: Medial prefrontal and hippocampal contributions to the self-reference effect on face memories in a social context	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Human Brain Mapping	6.最初と最後の頁 4256~4269
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	T - w
1 . 著者名 Shibata Sumiya、Matsuhashi Masao、Kunieda Takeharu、Yamao Yukihiro、Inano Rika、Kikuchi Takayuki、Imamura Hisaji、Takaya Shigetoshi、Matsumoto Riki、Ikeda Akio、Takahashi Ryosuke、 Mima Tatsuya、Fukuyama Hidenao、Mikuni Nobuhiro、Miyamoto Susumu	4.巻 128
2 . 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity	5.発行年 2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neurophysiology	734 ~ 743
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
10.1016/j.clinph.2017.01.010	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yamao Yukihiro、Suzuki Kengo、Kunieda Takeharu、Matsumoto Riki、Arakawa Yoshiki、Nakae Takuro、 Nishida Sei、Inano Rika、Shibata Sumiya、Shimotake Akihiro、Kikuchi Takayuki、Sawamoto Nobukatsu、Mikuni Nobuhiro、Ikeda Akio、Fukuyama Hidenao、Miyamoto Susumu	4.巻 38
2 . 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway	5 . 発行年 2017年
3 . 雑誌名 Human Brain Mapping	6.最初と最後の頁 1977~1991
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Takeuchi Hideaki、Tsurumi Kosuke、Murao Takuro、Takemura Ariyoshi、Kawada Ryosaku、Urayama Shin-ichi、Aso Toshihiko、Sugihara Gen-ichi、Miyata Jun、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	4.巻 69
2.論文標題 Common and differential brain abnormalities in gambling disorder subtypes based on risk attitude	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Addictive Behaviors	6.最初と最後の頁 48~54
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.addbeh.2017.01.025	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
つ フン・/ ころ この ひい 、 人 はつ フン・/ ころり 四 和	
1 . 著者名 Fujimoto A、Tsurumi K、Kawada R、Murao T、Takeuchi H、Murai T、Takahashi H	4 . 巻
2 . 論文標題 Deficit of state-dependent risk attitude modulation in gambling disorder	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Translational Psychiatry	6 . 最初と最後の頁 e1085~e1085
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/tp.2017.55	 査読の有無 有

	4
1. 著者名 Torodo Totoubiro, Niveto lun, Ohi Tomokozu, Kubata Manahu, Vachizumi Niba, Vamazaki Kinya	4.巻 7
Terada Tatsuhiro, Miyata Jun, Obi Tomokazu, Kubota Manabu, Yoshizumi Miho, Yamazaki Kinya, Mizoquchi Kouichi, Murai Toshiya	,
	r 36/- Fr
2.論文標題	5.発行年
Frontal assessment battery and frontal atrophy in amyotrophic lateral sclerosis	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Brain and Behavior	e00707 ~ e00707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/brb3.707	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
3 2277 EN CIGARY (NIGHT) 2777 ENTERED	
1 . 著者名	 4.巻
	_
Murao Ema, Sugihara Genichi, Isobe Masanori, Noda Tomomi, Kawabata Michiko, Matsukawa Noriko,	71
Takahashi Hidehiko, Murai Toshiya, Noma Shun'ichi	= 7v./= -
2 . 論文標題	5 . 発行年
Differences in neural responses to reward and punishment processing between anorexia nervosa	2017年
subtypes: An fMRI study	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Psychiatry and Clinical Neurosciences	647 ~ 658
respondence and extraordiness	047 000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/pcn.12537	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Tei Shisei, Fujino Junya, Kawada Ryosaku, Jankowski Kathryn F., Kauppi Jukka-Pekka, van den Bos	7
Wouter、Abe Nobuhito、Sugihara Genichi、Miyata Jun、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	•
	r 翌/二左
2. 論文標題	5 . 発行年
Collaborative roles of Temporoparietal Junction and Dorsolateral Prefrontal Cortex in Different	2017年
Types of Behavioural Flexibility	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
 , украї П 	
** *** * *	6415
Scientific Reports	6415
*****	6415
Scientific Reports	
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
Scientific Reports	
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6	査読の有無 有
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6	査読の有無 有
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 該当する
R載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi	査読の有無 有 国際共著 該当する
R載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 7
Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 7
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2. 論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 7
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 7 5.発行年 2017年
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 7
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年
B載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3.雑誌名 Scientific Reports	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 8019
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2. 論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3. 雑誌名 Scientific Reports	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 8019
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2.論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3.雑誌名 Scientific Reports	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 8019
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2. 論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3. 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-08482-0	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 8019
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Saito Naho、Takahata Keisuke、Yamakado Hodaka、Sawamoto Nobukatsu、Saito Satoshi、Takahashi Ryosuke、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko 2. 論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures 3. 雑誌名 Scientific Reports	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 7 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 8019

1 . 著者名 Matsumoto Yukiko、Takahashi Hideyuki、Miyata Jun、Sugihara Genichi、Murai Toshiya、Takahashi	4.巻 13
Hidehiko 2 . 論文標題 Neural basis of altered earlier attention and higher order biological motion processing in	5.発行年 2017年
schizophrenia 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Social Neuroscience	594 ~ 601
担撃公立のDOL / デジカリナインデーカー 禁助フン	木柱の左仰
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17470919.2017.1366363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ono Miki、Kochiyama Takanori、Fujino Junya、Sozu Takashi、Kawada Ryosaku、Yokoyama Naoto、 Sugihara Genichi、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	4.巻 23
2. 論文標題 Self-efficacy modulates the neural correlates of craving in male smokers and ex-smokers: an fMRI study	5.発行年 2017年
3.雑誌名 Addiction Biology	6.最初と最後の頁 1179~1188
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/adb.12555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Kawasaki Masahiro、Kitajo Keiichi、Fukao Kenjiro、Murai Toshiya、Yamaguchi Yoko、Funabiki Yasuko	4.巻
2.論文標題 Frontal theta activation during motor synchronization in autism	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Scientific Reports	6 . 最初と最後の頁 15034
日本会会の201 (ごごとり + ゴン!	本生の大畑
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-14508-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Fujino Junya、Tei Shisei、Jankowski Kathryn F.、Kawada Ryosaku、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	4.巻 367
2. 論文標題 Role of Spontaneous Brain Activity in Explicit and Implicit Aspects of Cognitive Flexibility under Socially Conflicting Situations: A Resting-state fMRI Study using Fractional Amplitude of	5 . 発行年 2017年
Low-frequency Fluctuations	
Low-frequency Fluctuations 3.雑誌名 Neuroscience	6.最初と最後の頁 60~71
3.雑誌名 Neuroscience	60 ~ 71
3 . 雑誌名	

1.著者名	4 . 巻
F b b : Ob : u + - u -	
Funahashi Shintaro	7
0. 40-2-1878	= 7V./= h-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Working Memory in the Prefrontal Cortex	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Brain Sciences	49 ~ 49
Brain defended	45 45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/brainsci7050049	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Funahashi Shintaro	11
ruididsiii siiiitaio	11
3	F 36/-/-
2. 論文標題	5 . 発行年
Prefrontal Contribution to Decision-Making under Free-Choice Conditions	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Neuroscience	431 ~ 431
Transfer in Red Good Cloc	401 401
	木はの左仰
	査読の有無
10.3389/fnins.2017.00431	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	す ・こ 37
Spaak Eelke、Watanabe Kei、Funahashi Shintaro、Stokes Mark G.	31
A A NEW	
2.論文標題	5 . 発行年
Stable and Dynamic Coding for Working Memory in Primate Prefrontal Cortex	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of Neuroscience	
The Journal of Neuroscience	6503 ~ 6516
The Journal of Neuroscience	0503 ~ 0516
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution	査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models	直読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名	直読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution	直読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名	直読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 12~28
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	直読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 84 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 12~28
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 12~28
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Watanabe Kei、Funahashi Shintaro 2.論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models 3.雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 84 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 12~28

	T . W
1 . 著者名 OSAKA Naoyuki	4.巻 73
ob. na. i nasy and	
2.論文標題	5 . 発行年
Self and Others Represented in the Social Brain	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Transactions of the Japan Academy	57~81
Traileast one or the supar readsy	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2183/tja.73.2_57	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T
1.著者名 ************************************	4.巻
	37
	5.発行年
Working memory netoworkとdefault mode network	2019年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neuroscience	178-180
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
│ オープンアクセス │	国際共著
カープンデッセスとはない、又はカープンデッセスが函典	-
1.著者名	4.巻
苧阪直行	70
	- 7V./- hr
2 . 論文標題 意識を創発するワーキングメモリ	5.発行年 2016年
息畝を創光するソーキングメモリ	2016年
	6.最初と最後の頁
日本学士院紀要	135-159
<u></u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	д #
」、看有有 Fujino Junya、Hirose Kimito、Tei Shisei、Kawada Ryosaku、Tsurumi Kosuke、Matsukawa Noriko、	4.巻 178
Miyata Jun, Sugihara Genichi, Yoshihara Yujiro, Ideno Takashi, Aso Toshihiko, Takemura	170
Kazuhisa, Fukuyama Hidenao, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	
	- 3V./= hr
2.論文標題	5 . 発行年
Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity	2016年
	6.最初と最後の頁
Schizophrenia Research	94 ~ 101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の右無
掲載論又のDUT(テンタルオフシェクト識別子) 10.1016/j.schres.2016.09.006	査読の有無 有
10.1010/ j.36/1163.2010.03.000	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著名名		
2 - 前次博館 社会部からみた意識の仕組み 3 - 副話名 基礎の理学研究 4 - 19 製製節文のDOI (デジタルオブジェクト機例子) 10 - 14647/psychono. 35.4 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 - 著名名 学版百行 2 - 前次博館 サペ く月がついてくるのはなぜですか? 3 - 静誌名 Clinical Neuroscience 1 - 著名名 「Linical Neuroscience 2 - 前次呼吸が	1.著者名	4 . 巻
2 - 前次博館 社会部からみた意識の仕組み 3 - 副話名 基礎の理学研究 4 - 19 製製節文のDOI (デジタルオブジェクト機例子) 10 - 14647/psychono. 35.4 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 - 著名名 学版百行 2 - 前次博館 サペ く月がついてくるのはなぜですか? 3 - 静誌名 Clinical Neuroscience 1 - 著名名 「Linical Neuroscience 2 - 前次呼吸が		
社会師からみた意識の仕組み 3 - 終証名		
社会師からみた意識の仕組み 3 - 終証名	2 经分摊的	5
3 ・ 制設名		
14 - 19 日報節文の001 (デジタルオブジェクト語例子) 2 1 - 19 10 - 14947/psychono.35.4 有	社会脳からみに意識の性組み	2016年
14 - 19 日報節文の001 (デジタルオブジェクト語例子) 2 1 - 19 10 - 14947/psychono.35.4 有		
14 - 19 日報節文の001 (デジタルオブジェクト語例子) 2 1 - 19 10 - 14947/psychono.35.4 有	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 音音名		
1. 14947/psychono.35.4 有	奉 陂心垤于明九	14 - 19
1. 14947/psychono.35.4 有		
1. 14947/psychono.35.4 有		
1 著名名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名	10.14947/psychono.35.4	有
1. 著名名		1
1. 著名名	オープンマクセフ	国際井茎
1 ・著者名 字版宣行		国际六百
学版直行 34 2 . 論文標題 歩くと月がついてくるのはなぜですか? 5 . 飛行年 2016年 3 . 雑誌名 Clinical Neuroscience 6 . 最初と最後の頁 841 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 26 2 . 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 6 . 最初と最後の頁 335 - 345 掲載論文の2001(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417689800 直読の有無 有 1 . 著者名 Aso Toshirliko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobi ninga Yoshi kazu, Fukuyama Hidenao 4 . 整 6 2 . 論文標題 Dymanic Interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 直読の有無 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 オープンアクセス 国際共者	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスが困難	-
学版直行 34 2 . 論文標題 歩くと月がついてくるのはなぜですか? 5 . 飛行年 2016年 3 . 雑誌名 Clinical Neuroscience 6 . 最初と最後の頁 841 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 26 2 . 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 6 . 最初と最後の頁 335 - 345 掲載論文の2001(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417689800 直読の有無 有 1 . 著者名 Aso Toshirliko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobi ninga Yoshi kazu, Fukuyama Hidenao 4 . 整 6 2 . 論文標題 Dymanic Interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 直読の有無 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 オープンアクセス 国際共者		
学版直行 34 2 . 論文標題 歩くと月がついてくるのはなぜですか? 5 . 飛行年 2016年 3 . 雑誌名 Clinical Neuroscience 6 . 最初と最後の頁 841 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 26 2 . 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 6 . 最初と最後の頁 335 - 345 掲載論文の2001(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417689800 直読の有無 有 1 . 著者名 Aso Toshirliko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobi ninga Yoshi kazu, Fukuyama Hidenao 4 . 整 6 2 . 論文標題 Dymanic Interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 掲載論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 直読の有無 6 . 最初と最後の頁 e00633 - e00603 オープンアクセス 国際共者	1.著者名	4 . 巻
2 ・論文標題 歩くと月がついてくるのはなぜですか?		_
### SCERMONIC (South Service	于ME1]	34
### SCERMONIC (South Service		
3 . 雑誌名 Clinical Neuroscience 信義論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2 . 論文書館 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science おープンアクセス 「表著名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshi kazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 「表記の有無 6 . 最初と最後の頁 335~345 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 3 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 「表記の有無 1 . 元初の表記を表記し、「表記の表記を表記し、「表記の表記を表記している。」を表記を表記を表記を表記している。 第一年	2 . 論又標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Clinical Neuroscience 信義論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2 . 論文書館 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science おープンアクセス 「表著名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshi kazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 「表記の有無 6 . 最初と最後の頁 335~345 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 3 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 「表記の有無 1 . 元初の表記を表記し、「表記の表記を表記し、「表記の表記を表記している。」を表記を表記を表記を表記している。 第一年	歩くと月がついてくるのはなぜですか?	2016年
### Clinical Neuroscience 841 ### RamiaixのDODI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1・著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2.6 2.論文標題 5.発行年 Punctional Neuroimaging Studies 3.強能器 6. 最初と最後の頁 335~345 ### RamiaixのDODI(デジタルオブジェクト識別子)		
### Clinical Neuroscience 841 ### RamiaixのDODI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1・著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2.6 2.論文標題 5.発行年 Punctional Neuroimaging Studies 3.強能器 6. 最初と最後の頁 335~345 ### RamiaixのDODI(デジタルオブジェクト識別子)	2 사람	6 見知し見後の方
掲載論文の201(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2 . 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文の201(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1 . 著名 Aso Toshiniko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu, Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic Interactions of the cortical networks during thought suppression 1 . 製誌名 Brain and Behavior a ibinofa無 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . 発行年 7 . 発行年 7 . 2017年 7 . 第行年 7 . 第日本 7 . 第一章		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2. 論文程題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2. 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression A ・ 世	Clinical Neuroscience	841
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2. 論文程題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2. 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression A ・ 世		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2. 論文程題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2. 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression A ・ 世		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2. 論文程題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2. 論文程題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression A ・ 世	掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別子)	本語の右無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2. 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 4. 巻 6. 最初と最後の頁 335~345 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.11177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 4. 巻 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス		
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 26 *** Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2 . 論文標題 5 . 発行年 2017年 *** Punctional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 335~345 *** 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	なし	有
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 26 *** Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki 2 . 論文標題 5 . 発行年 2017年 *** Punctional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 335~345 *** 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
1. 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 26 26 26 26 26 26 26 2	 オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 26 26 26 26 26 26 26 2	オープンアクセスではない ▽はオープンアクセスが困難	_
Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 2. 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu, Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 「直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	3 フングンとからはなく 人間3 フングンとハカ田梨	
Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki 2. 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu, Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 「直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	4 ****	4 344
2. 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 1. 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu, Fukuyama Hidenao 2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 超談のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	Minamoto Takehiro、Tsubomi Hiroyuki、Osaka Naoyuki	26
Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 超談のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies 3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 超談のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	2 論立種類	5 発行任
Functional Neuroimaging Studies 3.雑誌名 Current Directions in Psychological Science 3.35~345 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2.論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 5.発行年 2016年 3.雑誌名 Brain and Behavior 6.最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名 Current Directions in Psychological Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800 オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 「6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 「a is is is in a in a in a in a in a in a		2017年
Rung and Behavior and Behavio	Functional Neuroimaging Studies	
Rung and Behavior and Behavio	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800		
10.1177/0963721417698800 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 6 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 信託の有無 有 オープンアクセス 国際共著	out this birections in rayonorogical octobe	333 343
10.1177/0963721417698800 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 6 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 信託の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1177/0963721417698800 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 6 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 5 . 発行年 2016年 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 信託の有無 有 オープンアクセス 国際共著	In delical 1	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 4 . 巻 6 . 最行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオフジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 4 . 巻 6 . 最行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	10.1177/0963721417698800	有
### And Provided Note		
### And Provided Note	オープンアクセフ	国際仕事
1 . 著者名 Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 e00503~e00503 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1002/brb3 . 503 有 国際共著		
Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 5.発行年 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 2016年 6.最初と最後の頁 e00503~e00503 e00503 e00503 を00503 を00503 を00503 を00503 有 カープンアクセス 国際共著	オーノンアクセスではない、又はオーフンアクセスか困難	-
Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 5.発行年 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 2016年 6.最初と最後の頁 e00503~e00503 e00503 e00503 を00503 を00503 を00503 を00503 有 カープンアクセス 国際共著		
Aso Toshihiko、Nishimura Kazuo、Kiyonaka Takashi、Aoki Takaaki、Inagawa Michiyo、Matsuhashi Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 5.発行年 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 2016年 6.最初と最後の頁 e00503~e00503 e00503 e00503 を00503 を00503 を00503 を00503 有 カープンアクセス 国際共著	1. 著者名	4 . 巻
Masao、Tobinaga Yoshikazu、Fukuyama Hidenao 2 . 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 3 . 雑誌名 Brain and Behavior 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		_
2.論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression5.発行年 2016年3.雑誌名 Brain and Behavior6.最初と最後の頁 e00503~e00503掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 2016年 3.雑誌名 Brain and Behavior 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression 2016年 3.雑誌名 Brain and Behavior 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Brain and Behavior		
Brain and Behavior e00503 ~ e00503 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	Syndamic interactions of the service networks during thought suppression	2010—
Brain and Behavior e00503 ~ e00503 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	2 1862+47	C 目知に目然の方
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	Brain and Behavior	e00503 ~ e00503
10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1002/brb3.503 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト譜別子)	- 査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
	10.1002/pfb3.503	有
	101100000000000000000000000000000000000	
3 2217 CACOCKIS (SAC CONTECOS) -		国際共著
	オープンアクセス	国際共著

1. 著者名 Ishii Toru、Sawamoto Nobukatsu、Tabu Hayato、Kawashima Hidekazu、Okada Tomohisa、Togashi	4.巻 263
Kaori、Takahashi Ryosuke、Fukuyama Hidenao 2.論文標題 Altered striatal circuits underlie characteristic personality traits in Parkinson's disease	5.発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Neurology	6 . 最初と最後の頁 1828~1839
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00415-016-8206-0	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ota Kenichi、Oishi Naoya、Ito Kengo、Fukuyama Hidenao、and SEAD-J Study Group、for the	4. 巻 52
Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative 2 . 論文標題 Prediction of Alzheimer's Disease in Amnestic Mild Cognitive Impairment Subtypes: Stratification Based on Imaging Biomarkers	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6.最初と最後の頁 1385~1401
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3233/JAD-160145	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ueno Tomohiro、Suzuki Hirokazu、Hiraishi Masahiro、Amano Hideaki、Fukuyama Hidenao、Sugimoto Naozo	4.巻
2 . 論文標題 In vivo Magnetic Resonance Microscopy and Hypothermic Anaesthesia of a Disease Model in Medaka	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁 27188
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep27188	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Votinov Mikhail、Aso Toshihiko、Fukuyama Hidenao、Mima Tatsuya	4.巻
2 . 論文標題 A Neural Mechanism of Preference Shifting Under Zero Price Condition	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6.最初と最後の頁 177
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2016.00177	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

	. 14
1 . 著者名 Fujino Junya、Hirose Kimito、Tei Shisei、Kawada Ryosaku、Tsurumi Kosuke、Matsukawa Noriko、 Miyata Jun、Sugihara Genichi、Yoshihara Yujiro、Ideno Takashi、Aso Toshihiko、Takemura Kazuhisa、Fukuyama Hidenao、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	4.巻 178
2 . 論文標題	5 . 発行年
Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Schizophrenia Research	94~101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.schres.2016.09.006	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Son Shuraku、Miyata Jun、Mori Yasuo、Isobe Masanori、Urayama Shin-ichi、Aso Toshihiko、Fukuyama Hidenao、Murai Toshiya、Takahashi Hidehiko	4.巻 260
2.論文標題	5.発行年
Lateralization of intrinsic frontoparietal network connectivity and symptoms in schizophrenia	2017年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Psychiatry Research: Neuroimaging	23~28
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.pscychresns.2016.12.007	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Miyoshi Kiyofumi、Ashida Hiroshi	43
2 . 論文標題	5 . 発行年
Attentional cueing induces false memory	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Consciousness and Cognition	66~74
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.concog.2016.05.006	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Ueda Ryuhei、Ashida Hiroshi、Yanagisawa Kuniaki、Abe Nobuhito	12
2. 論文標題	5 . 発行年
The neural basis of individual differences in mate poaching	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Social Neuroscience	391~399
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/17470919.2016.1182065	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
Ueda Ryuhei、Kuraguchi Kana、Ashida Hiroshi	6
2 . 論文標題	5.発行年
Asymmetric Effect of Expression Intensity on Evaluations of Facial Attractiveness	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
SAGE Open	-
SAUL Spell	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左仰
	査読の有無
10.1177/2158244016677569	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
苧阪 満里子	21
	5 . 発行年
ワーキングメモリとこころの発達	2016年
	-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
学術の動向	4_63 ~ 4_66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.5363/tits.21.4_63	無
10.33037 (113.21.4_03	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Funahashi Shintaro	10
2.論文標題	5.発行年
Physical Features of Visual Images Affect Macaque Monkey's Preference for These Images	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Behavioral Neuroscience	1-18
Trontiers in behavioral neuroscience	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fnbeh.2016.00212	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
·	
1 . 著者名	4 . 巻
Mochizuki, Y., Onaga, T., Shimazaki, H., Shimokawa, T., Tsubo, Y., Funahashi, S.,,	36
Richmond, B.J., and Shinomoto, S.	
2. 論文標題	5.発行年
Similarity in Neuronal Firing Regimes across Mammalian Species	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Neuroscience	5736 ~ 5747
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1523/JNEUROSCI.0230-16.2016	有
10.1020/0MEUN0001.0200-10.2010	H.
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	•

1.著者名	4 . 巻
Ichihara-Takeda Satoe、Takeda Kazuyoshi、Ikeda Nozomu、Matsuyama Kiyoji、Funahashi Shintaro	7
2.論文標題	5.発行年
Neuropsychological Assessment of a New Computerized Cognitive Task that Was Developed to Train Several Cognitive Functions Simultaneously	2016年
3 . 維誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	1-7
Truitters in rayalorogy	1-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2016.00497	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Mochizuki Kei, Funahashi Shintaro	115
2 . 論文標題	5.発行年
Prefrontal spatial working memory network predicts animal's decision making in a free choice saccade task	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Neurophysiology	127 ~ 142
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	↑査読の有無
10.1152/jn.00255.2015	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Kang Hongling, Nakae Aya, Ito Hiroshi, Vitayaburananont Piyasak, Minamoto Takehiro, Ikeda Takashi, Osaka Mariko, Mashimo Takashi, Fujino Yuji, Hagihira Satoshi	12
2 . 論文標題	5.発行年
Effects of sedation on subjective perception of pain intensity and autonomic nervous responses to pain: A preliminary study	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLOS ONE	e0183635
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1371/journal.pone.0183635	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
学阪直行・矢追健 	34
2.論文標題	5 . 発行年
実験心理学からみた機能的磁気共鳴画像法(fMRI)による脳画像解析	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
基礎心理学研究	1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
4.5	
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 **
	4.巻
一	26
0 AA-JERF	= 7V./= /-
2 . 論文標題	5.発行年
ワーキングメモリとコグニティブエージング	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
老年精神医学雑誌	1039-1046
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Minamoto, T., Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	71
MINAMOTO, I., YAOI, K., OSAKA, M., & OSAKA, N.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
The rostral prefrontal cortex underlies individual differences in working memory capacity: An	2015年
approach from the hierarchical model of the cognitive control.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Cortex	277-290
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.cortex.2015.07.025	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ikeda, T., Matsuyoshi, D., Sawamoto, N., Fukuyama, H., & Osaka, N.	9
2 . 論文標題	5.発行年
Color harmony represented by activity in the medial orbitofrontal cortex and amygdala.	2015年
corol harmony represented by activity in the medial orbitorionial cortex and amyguara.	20154
그 사람선	6.最初と最後の頁
3 HT-T-	
3.雑誌名	
3.雜誌台 Frontiers of Human Neuroscience	382
Frontiers of Human Neuroscience	382
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	382 査読の有無
Frontiers of Human Neuroscience	382
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382	382 査読の有無 有
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382	382 査読の有無 有
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	382 査読の有無 有 国際共著
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	382 査読の有無 有 国際共著 -
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	382 査読の有無 有 国際共著
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	382 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	382 査読の有無 有 国際共著 -
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	382 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 383
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N. 2.論文標題 Neural correlates of the self-reference effect: evidence from evaluation and recognition processes. 3.雑誌名 Frontiers of Human Neuroscience	382 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 383
Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 383
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N. 2.論文標題 Neural correlates of the self-reference effect: evidence from evaluation and recognition processes. 3.雑誌名 Frontiers of Human Neuroscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00383	382 査読の有無 国際共著 4.巻 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 383 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382 オープンアクセス	382 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 383

1.著者名	4 . 巻
Minamoto, T., Shipstead, Z., Osaka, N., & Engle, R.	77
,,,,,	
2 50-4-7-15	r 整仁左
2.論文標題	5.発行年
Low cognitive load strengthens distractor interference while high load attenuates when	2015年
cognitive load and distractor possess similar visual characteristics.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Attention, Perception, & Psychophysics	1659-1673
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3758/s13414-015-0866-9	有
10.37307313414-013-0000-3	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Ashizuka, A., Mima, T., Sawamoto, N., Aso, T., Oishi, N., Sugihara, G., Kawada, R., Takahashi,	91
H., Murai, T., & Fukuyama, H.	
2.論文標題	5 . 発行年
Functional relevance of the precuneus in verbal politeness.	2015年
runotronal refevance of the precuneus in verbal politichess.	2010 '
0. 1844 6	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience Research	48-56
#月##公立のDOL / デバカルナデンド カー 地回フン	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neures.2014.10.009	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープンテクと人とはない、人はカープンテクと人が四世	-
	-
1 . 著者名	4.巻
1 . 著者名	- 4.巻 5
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H.	5
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2.論文標題	5 . 発行年
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H.	5
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2.論文標題	5 . 発行年
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2.論文標題	5 5.発行年 2015年
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
1.著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2.論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges.	5 5.発行年 2015年
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 -
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S.,	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T.	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S.,	5 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 -
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder.	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder.	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2014.12.009	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9 査読の有無 有
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9
1 . 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges. 3 . 雑誌名 Brain Connect 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T. 2 . 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder. 3 . 雑誌名 Journal of Affective Disorders 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2014.12.009	5 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 203-13 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 397-9 査読の有無 有

1 . 著者名 Fumuro, T., Matsuhashi, M., Miyazaki, T., Inouchi, M., Hitomi, T., Matsumoto, R., Takahashi, R., Fukuyama, H., & Ikeda, A.	│ 4 . 巻
R., Fukuyama, H., & Ikeda, A.	126
2 . 論文標題	5 . 発行年
Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning.	2015年
Alpha-band desynchronization in number parteral area during reach prainting.	20134
0. 1844.0	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neurophysiology	756-62
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.clinph.2014.07.026	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープラブラビスではない、人はカープラブラビスが四年	_
1.著者名	4 . 巻
Fumuro, T., Matsumoto, R., Shimotake, A., Matsuhashi, M., Inouchi, M., Urayama, S., Sawamoto,	126
N., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	
	5 787-F
2.論文標題	5 . 発行年
Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: converging evidence from	2015年
magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging.	
To the experience in the state of the state	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neurophysiology	675-81
ormical hadrophysic rogy	0.0 0.
	+++ - + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.clinph.2014.07.033	有
	1
オープンアクセス	国際共著
	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1,著者名	Ⅰ 4 . 巻
1.著者名 Hivoshi-Taniquehi K Oishi N Namiki C Miyata I Murai T Cichocki A & Eukuwama	4.巻
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama,	4 . 巻 25
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H.	25
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama,	
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題	5 . 発行年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H.	25
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease.	25 5.発行年 2015年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease.	25 5.発行年 2015年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2. 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2. 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	25 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 102 5.発行年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2.論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2.論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current	25 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 102 5.発行年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2. 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	25 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 102 5.発行年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues.	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues.	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2015.07.009	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38 査読の有無 有
Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H. 2 . 論文標題 The uncinate fasciculus as a predictor of conversion from aMCI to Alzheimer disease. 3 . 雑誌名 Journal of Neuroimaging 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H. 2 . 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues. 3 . 雑誌名 Neuroscience Research	25 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 748-53 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 102 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 29-38

1 . 著者名 Ito, K., Fukuyama, H., Senda, M., Ishii, K., Maeda, K., Yamamoto, Y., Ouchi, Y., Okumura, A., Fujiwara, K., Kato, T., Arahata, Y., Washimi, Y., Mitsuyama, Y., Meguro, K., Ikeda, M.; Group S-JS	4.巻 45
2 . 論文標題 Prediction of Outcomes in Mild Cognitive Impairment by Using 18F-FDG-PET: A Multicenter Study.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Alzheimers Disorders	543-52
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3233/JAD-141338	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Kobayashi, K., Matsumoto, R., Matsuhashi, M., Usami, K., Shimotake, A., Kunieda, T., Kikuchi, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	4.巻 10
2.論文標題 Different Mode of Afferents Determines the Frequency Range of High Frequency Activities in the Human Brain: Direct Electrocorticographic Comparison between Peripheral Nerve and Direct Cortical Stimulation.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 PLoS One	6 . 最初と最後の頁 e0130461
担業金をかい ノニックリー・オージョウト 地口フン	木芸の左無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0130461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Koganemaru, S., Sawamoto, N., Aso, T., Sagara, A., Ikkaku, T., Shimada, K., Kanematsu, M., Takahashi, R., Domen, K., Fukuyama, H., & Mima, T.	4.巻 92
2.論文標題 Task-specific brain reorganization in motor recovery induced by a hybrid-rehabilitation combining training with brain stimulation after stroke.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁 29-38
Neuroscience Research	20 00
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Matsumoto, R., Mikuni, N., Tanaka, K., Usami, K., Fukao, K., Kunieda, T., Takahashi, Y.,	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Matsumoto, R., Mikuni, N., Tanaka, K., Usami, K., Fukao, K., Kunieda, T., Takahashi, Y., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A. 2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Matsumoto, R., Mikuni, N., Tanaka, K., Usami, K., Fukao, K., Kunieda, T., Takahashi, Y., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A. 2 . 論文標題 Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody. 3 . 雑誌名 Epileptic Disorders	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 17 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 89-94; quiz 94
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Matsumoto, R., Mikuni, N., Tanaka, K., Usami, K., Fukao, K., Kunieda, T., Takahashi, Y., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A. 2. 論文標題 Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody. 3. 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004 オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 17 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 89-94; quiz 94

	. "
1 . 著者名	4.巻
Nojima, I., Koganemaru, S., Fukuyama, H., & Mima, T.	126
2 . 論文標題	5 . 発行年
Static magnetic field can transiently alter the human intracortical inhibitory system.	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neurophysiology	2314-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.clinph.2015.01.030	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カーブン・アとハとはなが、人はカーブン・アとハル四類	
. #46	. 14
1.著者名	4 . 巻
Nojima, I., Koganemaru, S., Kawamata, T., Fukuyama, H., & Mima, T.	41
2.論文標題	5 . 発行年
Action observation with kinesthetic illusion can produce human motor plasticity.	2015年
Action observation with Kinesthette Titusion can produce number motor practicity.	2010 -
3. http://dx	こ 目知に目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The European Journal of Neuroscience	1614-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ejn.12921	有
10.1111/6]11.12921	Ħ
オープンアクセス	国際共著
	国际共 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ono, K., Altmann, CF., Matsuhashi, M., Mima, T., & Fukuyama, H.	319
2 . 論文標題	5 . 発行年
·····	
Neural correlates of perceptual grouping effects in the processing of sound omission by	2015年
musicians and nonmusicians.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Hearing Research	25-31
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· ·	_
10.1016/j.heares.2014.10.013	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 Ota K Oishi N Ito K Fukuwama H : Group S-IS & Initiative AsDN	4.巻 256
1 . 著者名 Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN	4.巻 ²⁵⁶
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN	256
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2 . 論文標題	5 . 発行年
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN	5 . 発行年
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2 . 論文標題	5 . 発行年
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2 . 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's	256 5.発行年 2015年
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2.論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3.雑誌名	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2 . 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease.	256 5.発行年 2015年
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2.論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3.雑誌名	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2. 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2.論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroscience Methods 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183 査読の有無
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2. 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2.論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3.雑誌名 Journal of Neuroscience Methods 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183 査読の有無
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2. 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneumeth.2015.08.020	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183 査読の有無 有
Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN 2. 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease. 3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	256 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 168-183 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Son, S., Kubota, M., Miyata, J., Fukuyama, H., Aso, T., Urayama, S., Murai, T., & Takahashi H.	164
2	F 琴红生
2 . 論文標題	5.発行年
Creativity and positive symptoms in schizophrenia revisited: structural connectivity analysis	2015年
with diffusion tensor imaging.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Schizophrenia Research	1-3, 221-6
	,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.schres.2015.03.009	
10.1016/J.Schles.2015.03.009	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ##/7	. 44
1 . 著者名	4 . 巻
Tabu, H., Aso, T., Matsuhashi, M., Ueki, Y., Takahashi, R., Fukuyama, H., Shibasaki, H., & Mima, T.	95
2 . 論文標題	5.発行年
Parkinson's disease patients showed delayed awareness of motor intention.	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience Research	74-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neures.2015.01.012	有
10.1010/j.1104/00/2010/01/01/2	17
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Usami, K., Matsumoto, R., Kobayashi, K., Hitomi, T., Shimotake, A., Kikuchi, T., Matsuhashi,	36
M., Kunieda, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	
2.論文標題	5 . 発行年
Sleep modulates cortical connectivity and excitability in humans: Direct evidence from neural	2015年
activity induced by single-pulse electrical stimulation.	2010—
	6 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Human Brain Mapping	4714-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/hbm.22948	有
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	4 · 글 134
Yamao, Y., Matsumoto, R., Kunieda, T., Arakawa, Y., Kikuchi, T., Shibata, S., Shimotake, A., Fukuyama, H., Ikeda, A., & Miyamoto, S.	134
2.論文標題	5 . 発行年
A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area.	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical Neurology and Neurosurgery	126-9
offinious hourology and hourosurgery	120-0
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.clineuro.2015.04.024	有
	□ my 11 +++
オーブンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	
Yamao, Y., Matsumoto, R., Kunieda, T., Shibata, S., Shimotake, A., Kikuchi, T., Satow, T.,	4.巻 66
Mikuni, N., Fukuyama, H., Ikeda, A., & Miyamoto, S. 2.論文標題	5 . 発行年
Neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cortex	134-40
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.cortex.2014.11.008	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Matsumoto, Y., Takahashi, H., Murai, T., & Takahashi, H.	90
	5.発行年
Visual processing and social cognition in schizophrenia: relationships among eye movements, biological motion perception, and empathy.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience Research	95-100
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1016/j.neures.2014.10.011	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4	1 4 **
1.著者名 Noma, S., Uwatoko, T., Ono, M., Miyagi, T., & Murai, T.	4 . 巻
2.論文標題	5.発行年
Differences between non-suicidal self-injury and suicidal behavior in patients with eating disorders.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Psychiatric Practice	198-207
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1097/PRA.00000000000067	有
10.1097/PRA.000000000000067 オープンアクセス	有 国際共著
10.1097/PRA.000000000000067	
10.1097/PRA.000000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 -
10.1097/PRA.00000000000000067 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1097/PRA.000000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 -
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y.	国際共著 - 4.巻 IV
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y. 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 IV 5.発行年
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y. 2 . 論文標題 Neural dynamics for a sudden change in other's behavioral rhythm.	国際共著 - 4.巻 IV 5.発行年 2015年
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y. 2 . 論文標題 Neural dynamics for a sudden change in other's behavioral rhythm. 3 . 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	国際共著 - 4 . 巻 IV 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 485-489
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y. 2 . 論文標題 Neural dynamics for a sudden change in other's behavioral rhythm.	国際共著 - 4 . 巻 IV 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
10.1097/PRA.00000000000000007 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y. 2.論文標題 Neural dynamics for a sudden change in other's behavioral rhythm. 3.雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	国際共著 - 4 . 巻 IV 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 485-489 - 査読の有無

1.著者名 Yassin, W., Sugihara, G., Oishi, N., Kubota, M., Ubukata, S., Murai, T., & Ueda, K.	4.巻 11
2.論文標題 Hypothalamic - amygdalar - brainstem volume reduction in a patient with narcolepsy secondary to diffuse axonal injury.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Journal of Clinical Sleep Medicine	6.最初と最後の頁 581-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5664/jcsm.4710	直読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Tanaka, Y., Fujino, J., Ideno, T., Okubo, S., Takemura, K., Miyata, J., Kawada, R., Fujimoto, S., Kubota, M., Sasamoto, A., Hirose, K., Takeuchi, H., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	4.巻 5
2.論文標題 Are ambiguity aversion and ambiguity intolerance identical? A neuroeconomics investigation.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Frontiers in Psychology, section Decision Neuroscience	6.最初と最後の頁 1550
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2014.01550	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Funabiki, Y., Mizutani, T., & Murai, T.	4.巻 5
2.論文標題 Fine motor skills relate to visual memory in autism spectrum disorder.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Journal of Educational and Developmental Psychology	6.最初と最後の頁 88-96
 掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jedp.v5n1p88	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Isobe, M., Tanigaki, K., Murak, K., Miyata, J., Takemura, A., Sugihara, G., Takahashi, H., Aso, T., Fukuyama, H., Hazama, M., & Murai T.	4 . 巻 1
2.論文標題 Polymorphism within a neuronal activity-dependent enhancer of NgR1 is associated with corpus callosum morphology in humans.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Molecular Neuropsychiatry	6.最初と最後の頁 105-115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000430463	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Okada, T., Kubota, Y., Sato, W., Murai, T., Pellion, F., & Gorog, F.	4.巻
2.論文標題 Common impairments of emotional facial expression recognition in schizophrenia across French and Japanese cultures.	5 . 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology, section Cultural Psychology	6.最初と最後の頁 1018
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.01018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Saito, N., Takahata, K., Murai, T., & Takahashi, H.	4 . 巻 37
2. 論文標題 Discrepancy between explicit judgement of agency and implicit feeling of agency: implications for sense of agency and its disorders.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Consciousness and Cognition	6.最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.concog.2015.07.011	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ***	4 44
1 . 著者名 Takagi, Y., Miyamoto, S; COSMO-Japan Study Group	4.巻 55
2 . 論文標題 Cognitive Dysfunction Survey of the Japanese Patients with Moyamoya Disease (COSMO-JAPAN Study): study protocol.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Neurologia Medico- Chirurgica (Tokyo)	6.最初と最後の頁 199-203
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.2176/nmc.ra.2014-0326	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻 36
2 . 論文標題 ワーキングメモリとその脳内機構	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 臨床精神病理	6.最初と最後の頁 235-239
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	
	4 . 巻
Miyoshi, K., Kimura, Y., & Ashida, H.	6
,,,,,	
6 40 A-15F DT	= 7V./= h=
2.論文標題	5 . 発行年
Longer prime presentation decreases picture-word cross-domain priming	2015年
zongo. Primo procentation accreace protein mora creec asmain priming	20.0 (
	6 BT B # 6 F
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Psychology	1040
Transfer in Fayanaragy	1010
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2015.01040	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンデクセスとしている(また、との予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	6
Honma, T. C., & Ashida, H.	J 0
2.論文標題	5 . 発行年
What makes space-time interactions in human vision asymmetrical?	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
w- · ·	
Frontiers in Psychology	756
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpsyg.2015.00756	有
10.00007 1poyg.2010.00700	
1P	TO Day 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	1
#10	T - W
1 ***	│ 4 . 巻
I . 看白白	
	6
I.看自台 Uesaki, M., & Ashida, H.	6
Uesaki, M., & Ashida, H.	
Uesaki, M., & Ashida, H.	5 . 発行年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2.論文標題	5 . 発行年
Uesaki, M., & Ashida, H.	
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 .論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection.	5.発行年 2015年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 .論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection.	5.発行年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 .論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection.	5.発行年 2015年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H.	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2.論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Uesaki, M., & Ashida, H. 2.論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著
Uesaki, M., & Ashida, H. 2.論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3.雑誌名 Frontiers in Psychology 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H.	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision.	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3. 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3. 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 曷戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision.	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Uesaki, M., & Ashida, H. 2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 局載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3. 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 .論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 .雑誌名 Frontiers in Psychology B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 .論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 .雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 曷戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology 曷戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 .論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 .雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 .著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 .論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 .雑誌名 Frontiers in Psychology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00566	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566
Uesaki, M., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H. 2 . 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision. 3 . 雑誌名 Frontiers in Psychology 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 775 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 566

1 . 著者名	4 . 巻
Kuraguchi, K., Taniguchi, K., & Ashida, H.	4
2 . 論文標題	5.発行年
The impact of baby schema on perceived attractiveness, beauty, and cuteness in female adults.	2015年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Springer Plus	164
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1186/s40064-015-0940-8	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
7 JJJ JEACOCHS (AR. COJECOS)	-
1 . 著者名	4.巻
船橋新太郎	58
2.論文標題	5 . 発行年
実行機能と前頭連合野の関与	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
心理学評論	55-71
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
船橋新太郎	67
2.論文標題	5.発行年
視覚刺激に対する嗜好性と前頭葉眼窩部の関与	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Brain and Nerve(神経研究の進歩)	711-722
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
船橋新太郎	253
2.論文標題	5 . 発行年
同時に2つのことをうまくできないのはなぜか	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
医学のあゆみ	659-670
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1,著者名	4 . 巻
渡邉慶,船橋新太郎	31
A *A	- 7V./- hr
2 . 論文標題	5.発行年
二重課題の神経生物学-二重課題干渉効果と前頭連合野の役割	2015年
	6 847 1 8 1/4 6 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
霊長類研究	87-100

掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.7875/first.author.2014.037	有
	同數十苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. #46	1 , 24
1. 著者名	4.巻
Li, BM., & Funahashi, S.	31
2	5 36/- 5-
2.論文標題	5.発行年
A step forward in the understanding of prefrontal cortical functions.	2015年
- ANAL 4-	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience Bulletine	161-163
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12264-015-1516-2	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
船橋新太郎	32
2 . 論文標題	5.発行年
書評 小野武年著『情動と記憶-しくみとはたらき』	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
比較生理生化学	49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 船橋新太郎	4.巻 22
船橋新太郎	22
	_
船橋新太郎	22
船橋新太郎 2 . 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説	5.発行年 2015年
船橋新太郎 2 . 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3 . 雑誌名	5 . 発行年
船橋新太郎 2 . 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説	5.発行年 2015年
船橋新太郎 2 . 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
船橋新太郎 2. 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3. 雑誌名 日本神経回路学会誌	5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 1-2
船橋新太郎 2 . 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
船橋新太郎 2. 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3. 雑誌名 日本神経回路学会誌	5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 1-2
船橋新太郎 2.論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3.雑誌名 日本神経回路学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 1-2 査読の有無 無
船橋新太郎 2.論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説 3.雑誌名 日本神経回路学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 1-2 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Watanabe, K., & Funahashi, S.	246
2.論文標題	5 . 発行年
A dual-task paradigm for behavioral and neurobiological studies in nonhuman primates.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Neuroscience Methods	1-12
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jneumeth.2015.03.006	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 that	4 34
1.著者名 Funahashi,S.	4 . 巻 9
2.論文標題	5 . 発行年
Functions of delay-period activity in the prefrontal cortex and mnemonic scotomas revisited.	2015年
3.雑誌名 Frontiers in Systems Neuroscience	6.最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fnsys.2015.00002	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Ichihara-Takeda, S., Yazawa, S., Murahara, T., Toyoshima, T., Shimozaki, J., Ishiguro, M., Shiraishi, H., Ikeda, N., Matsuyama, K., Funahashi, S., & Nagamine, T.	4 .巻 27
2.論文標題	5 . 発行年
Modulation of alpha activity in the parieto-occipital area by distractors during a visuospatial working memory task: a magnetoencepharographic study.	2015年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Journal of Cognitive Neuroscience	453-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1162/jocn_a_00718	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Watanabe, K. and Funahashi, S.	1
2.論文標題	5 . 発行年
Primate model of interference control.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Current Opinion in Behavioral Sciences	9-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.cobeha.2014.07.004	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1. 著者名 Ubukata, S., Ueda, K., Sugihara, G., Yassin, W., Aso, T., Fukuyama, H., & Murai, T.	4.巻 38
2 . 論文標題 Disturbance of time orientation, attention and verbal memory in amnesic patients with confabulation.	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Clinical and Experimental Neuropsychology	6.最初と最後の頁 171-82
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13803395.2015.1094027	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名 Ubukata, S., Ueda, K., Sugihara, G., Yassin, W., Aso, T., Fukuyama, H., & Murai, T.	4.巻 28
2. 論文標題 Corpus callosum pathology as a potential surrogate marker of cognitive impairments in diffuse axonal injury.	5.発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences	6.最初と最後の頁 97-103
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1176/appi.neuropsych.15070159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 苧阪直行	4.巻 34
2.論文標題 デフォールトモードネットワーク	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Clinical Neuroscience	6.最初と最後の頁 668-670
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K.,Azuma, M.,Shimada, Y., Osaka, M.	4.巻 6
2 . 論文標題 How two brains make one synchronized brain in the inferior frontal cortex.	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Frontiers of Psychology	6.最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.01811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Osaka, M.	126
2.論文標題	5 . 発行年
Neural synchronization during cooperated humming: A hyperscanning study using fNIRS.	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Procedia- Social and Behavioral Sciences	241-243
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
│ なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計50件(うち招待講演 11件/うち国際学会 19件)

1.発表者名

塩川史崇・上田竜平・蘆田宏

2 . 発表標題

同性ライバルの外見的魅力に基づく配偶者選択行動の調整

3 . 学会等名

日本心理学会第82回大会

4.発表年 2018年

1.発表者名

塩川史崇・上田竜平・蘆田宏

2 . 発表標題

競合する同性の外見的魅力に基づく異性へのアプローチの調整 ~ マッチングアプリ的場面での検討~

3 . 学会等名

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会

4.発表年

2019年

1.発表者名

Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., & Osaka, N.

2 . 発表標題

Group differences of working memory capacities in the resting state

3.学会等名

Psychonomic Society 59h Annual Meeting (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名
Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.
Neural Correlates of Color Harmony
3 . 学会等名
The 4th Asia Color Association Conference(国際学会)
2018年
1.発表者名 坪見博之
ワーキングメモリトレーニングと流動性知能
3 . 学会等名
日本心理学会第82回大会
 4.発表年
2018年
1 . 発表者名
ワーキングメモリの概念と測定化
3 . 学会等名
日本心理学会第83回大会(招待講演)
2019年
1
1 . 発表者名
顔に向けられる視線傾向の調整要因 魅力・呈示位置・経時的変化の検討
3 . 学会等名
日本視覚学会2018年冬季大会
4.発表年
2018年

1.発表者名 Tsubomi, H., Fukuda, K., & Vogel, E. K.
ISUDUMI, II., FUKUUA, K., & VOGEI, E. K.
2.発表標題
Protection against interference limits visual capacity to three items independent of retention interval.
3.学会等名
Vision Science Society Annual meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名
ー 学阪満里子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2 . 発表標題 ワーキングメモリと言語理解
補聴と聴覚活用研究会サマーフォーラム 2018 in 横浜(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.
2 . 発表標題 Neural Correlates of Color Harmony
Neural correlates of corol harmony
3.学会等名
3 . 子云寺石 The 4th Asia Color Association Conference
4 . 発表年
2018年
1.発表者名 Osaka, N
2.発表標題
Executive functions of working memory control an access consciousness: An NCC approach,
3.学会等名 International Congress of Psychology (ICP2016)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2016年

1.発表者名 Osaka, N.
2. 発表標題 Aesthetics of art in cognitive psychology and neuroscience(orgaziner K.Miura):
3.学会等名 International Congress of Psychology (ICP2016)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Osaka, N., Ikeda, T., Osaka, M.
2. 発表標題 Neural correlates of color working memory: An fMRI study.
3 . 学会等名 ECVP2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 学阪直行
2.発表標題 融合社会脳科学の展望 脳の中の」自己と他者
3.学会等名 日本学術会議「自己を知る脳・他者を理解する脳 融合的アプローチによる社会脳研究の魅力 」
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Osaka, N.et al.
2. 発表標題 How two brains make one synchronized mind
3.学会等名 CiNET talk
4 . 発表年 2016年

1.発表者名 Osaka, N.Minamoto, T., Yaoi, K.,Azuma, M.,Osaka, M
2.発表標題 Hyperscanning study on synchronized singing between two people using fNIRS
3.学会等名 SFN 2016 meeting(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., Azuma, M., & Osaka, N.
2 . 発表標題 Inhibitory effect of OFC during emotional complex span task of working memory: An fMRI study
3.学会等名 Psychonomic Meeting 2016(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 福山秀直
2 . 発表標題 神経変性疾患の画像診断
神経変性疾患の画像診断 3.学会等名
 神経変性疾患の画像診断 3 . 学会等名 第8回Neuroimaging Seminar 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 福山秀直
 神経変性疾患の画像診断 3 . 学会等名 第8回Neuroimaging Seminar 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 福山秀直 2 . 発表標題 大脳皮質野の可塑性 resting state fMRIによる検討
 神経変性疾患の画像診断 3 . 学会等名 第8回Neuroimaging Seminar 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 福山秀直 2 . 発表標題
神経変性疾患の画像診断 3 . 学会等名 第8回Neuroimaging Seminar 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 福山秀直 2 . 発表標題 大脳皮質野の可塑性 resting state fMRIによる検討 3 . 学会等名

1.発表者名
福山秀直
2.発表標題
認知症の早期診断~画像診断などを中心にして~
3.学会等名
認知症サポート医・相談医フォローアップ研修
4 . 発表年
2016年
2010
1.発表者名
Fukuyama.H
2 7V ± 4m RT
2 . 発表標題
Cryogen-free 3T-MRI System for Human Brain Research using Bi 2223 High-Temperature Superconducting Taps
3. 学会等名
International Symposium on Applied Brain Science(国際学会)
4.発表年
2016年
1 . 発表者名
Kuraguchi, K. & Ashida, H.
Ruragooni, N. a Asirida, II.
2.発表標題
Inversion effect on facial beauty.
2 24 4 77 7
3.学会等名
ICP2016 (国際学会)
4. 発表年
2016年
1.発表者名
Ueda, R., Yanagisawa, K., Ashida, H., & Abe, N.
2.発表標題
Why do some people engage in immoral love? : Insights from neuroim- aging and implicit association test.
, as some proper organism form. The first from the first and the first additional tools.
3.学会等名
ICP2016(国際学会)
A
4 . 発表年
2016年

1.発表者名 Lin, Y-Y., Miyoshi, K., & Ashida, H.
2 . 発表標題 The Influence of Detailed illustrations on Comprehension Monitoring and Positive Emotions.
3 . 学会等名 ECVP 2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 上田竜平・柳澤邦昭・蘆田宏・阿部修士.
2 . 発表標題 浮気欲求への抵抗:潜在的・顕在的抑制機能の認知的説明
3 . 学会等名 関西心理学会第128回大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Tsubomi, H.
2 . 発表標題 Efficiency of selecting and excluding visual working memory representations depends on the stage of selection
3 . 学会等名 31st International Congress of Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 船橋新太郎
2 . 発表標題 「二鬼を追う者は一鬼をも得ず」の神経機構を考える
3 . 学会等名 第13回NBR公開シンポジウム(招待講演)
4.発表年 2016年

1.発表者名 船橋新太郎
2 . 発表標題 自由選択条件下での意思決定とワーキングメモリ
2
3.学会等名 第14回日本ワーキングメモリ学会大会(招待講演)
4. 発表年
2016年
1.発表者名 柴田柚香、小川詩乃、船曳康子、正高信男、船橋新太郎
2.発表標題
左前頭葉腫瘍を摘出した児童の行動特徴の検討
3 . 学会等名
第14回日本ワーキングメモリ学会
4.発表年
2016年
1.発表者名 Tanaka, A. and Funahashi, S.
2 . 発表標題 Persistent activity of prefrontal neurons as a source of confidence in working memory.
3.学会等名
Society for Neuroscience Meeting (Neuroscience 2016)(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名
Funahashi, S.
2.発表標題
2. 免表標題 Prefrontal neural network predicts animal's decision in a free-choice condition.
3.学会等名
5. 子云守口 5th Workshop on the Computational Properties of the Prefrontal Cortex.(招待講演)
4.発表年 2016年

1.発表者名 Mochizuki, K. and Funahashi, S
2 . 発表標題 Spatial representation and spike timing characteristics in primate prefrontal neurons
3 . 学会等名 第39回日本神経科学大会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 肥後克己・岡本尚子・苧阪満里子
2 . 発表標題 順序情報の保持と処理に関わる脳活動の変化
3 . 学会等名 第15回日本ワーキングメモリ学会大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2 . 発表標題
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2 . 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3 . 学会等名
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2. 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3. 学会等名 AIC2017 (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2017年
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2 . 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3 . 学会等名 AIC2017 (招待講演) (国際学会)
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2. 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3. 学会等名 AIC2017 (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2017年
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2. 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3. 学会等名 AIC2017 (招待講演) (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Osaka, N.
Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M. 2 . 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference 3 . 学会等名 AlC2017(招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Osaka, N.

	1 . 発表者名 源健宏・苧阪満里子・苧阪直行
	2 . 発表標題 前部帯状回腹側部の活動から探る感情情報の注意資源特性 - 事象関連fMRIによる検討 -
	3 . 学会等名 第17回日本ヒト脳機能マッピング学会
	4.発表年 2015年
Г	
	1. 発表者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.
	2 . 発表標題 Two brains make one Mind: Hyperscanning study on synchronized singing/humming between two people using fNIRS.
	3.学会等名 The 14th European Congress of Psychology
	4.発表年 2015年
_	
	1 . 発表者名 源健宏・苧阪満里子・苧阪直行
	2 . 発表標題 前部帯状回腹側部の活動から捉える感情情報の注意資源特性:fMRI研究
	3 . 学会等名 第38回日本神経科学大会
	4.発表年 2015年
_	
	1.発表者名 Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.
r	2 . 発表標題
	Valence-general attentional resource for emotional information revealed by activation of the ventral part of the anterior cingulate cortex.

3 . 学会等名

4 . 発表年 2015年

45th annual meeting of the Society for Neuroscience

1.発表者名 苧阪満里子
2 . 発表標題 こころの発達とワーキングメモリー
3.学会等名
日本学術会議 「脳とこころ」・「神経科学」・「脳と意識」分科会合同市民公開シンポジウム「求められる「脳とこころの科学」〜教育・医療・モノづくり〜」(招待講演)
4. 発表年 2015年
1.発表者名 Ikeda, T., & Osaka, N.
2.発表標題 Neural basis of color harmony and disharmony.
3 . 学会等名
Association Internationale de la Couleur (AIC) (国際学会)
4 . 発表年 2015年
1.発表者名
2 . 発表標題 視覚芸術の神経美学
3.学会等名
社会・技術の変容とアートの役割
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 苧阪直行
2.発表標題 ハイパースキャニングと歌行動
3.学会等名 同志社赤ちゃんセンター講演会
4 . 発表年 2015年

1.発表者名
苧阪直行
2. 発表標題
意識を生みだすワーキングメモリ
3 . 学会等名
日本心理学会国際賞受賞講演
4.発表年
2015年
20.0
1.発表者名
苧阪直行
笑いと社会脳
5 WAME
3. 学会等名
ニューロクリアティブ研究会
4.発表年
2015年
1 . 発表者名
苧阪直行
2 . 発表標題
京都大学文学部心理学古典機器博物館への招待
3.3.7 (1.7 (2.7 (2.7 (2.7 (2.7 (2.7 (2.7 (2.7 (2
3 . 学会等名
関西心理学会シンポジウム講演
気口の生まなととなっては時点
4.発表年
2015年
20107
1 DE-20
1. 発表者名
苧阪直行
2.発表標題
社会脳から見た意識の仕組み
2 WAWA
3. 学会等名
日本基礎心理学会特別講演
. 34
4 . 発表年
2015年

1.発表者名		
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		
2.発表標題		
2.光衣信題 ワーキングメモリとその脳内機構		
3.学会等名		
第21回中部老年期認知症研究会(招待講演)		
4.発表年		
2016年		
1		
1 . 発表者名 Osaka,N. Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Osaka, M.		
The state of the s		
2.発表標題		
Zen meditator overcomes the Stroop interference: An fMRI study of access conscipousness.		
3.学会等名		
Psychonomic Society(国際学会)		
4.発表年		
2016年		
1.発表者名	1	
Fukuyama, H.		
2 . 発表標題		
Keynote: Optical imaging and cerebral blood flow		
3.学会等名 Taiwan Society Of Clinical Neurophysiolgy (国際学会)		
Talwan Society of Clinical Neurophysiolgy(国际子云)		
4 . 発表年		
2016年		
〔図書〕 計13件		
1.著者名	4 . 発行年	
苧阪 直行、越野 英哉	2018年	
2 H/E 24	□ 4分ペ _ >>*##	
2 . 出版社 新曜社	5 . 総ページ数 ²⁴⁰	
VII. 200 100		
3 . 書名		
3 · 音石 社会脳ネットワーク入門		

1 . 著者名 源健宏・苧阪満里子	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5.総ページ数 380
3.書名 言語性ワーキングメモリと脳(生理心理学と精神生理学 第111巻 展開,堀 忠雄、尾崎 久記、室橋 春 光、苧阪 満里子(編))	
1 . 著者名 越野英哉・苧阪満里子・苧阪直行	4 . 発行年 2018年
2.出版社 北大路書房	5.総ページ数 380
3.書名 堀忠雄,尾﨑久記(監修),室橋春光,苧阪満里子(編集) 生理心理学と精神生理学 第III巻 展開	
1.著者名 K. Mochizuki and S. Funahashi	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 Springer, New York	5.総ページ数 16
3.書名 "Response inhibition" In Neurophenotypes: advancing psychiatry and neuropsychology in the "OMICS" era. V. Jagaroo and S.L. Santangelo (eds.)	
1 . 著者名 苧阪直行	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 ワールドプランニング	5.総ページ数 ²³⁴
3.書名 松田 修 (著) 最新老年心理学	

	. = 4 /= 1-
1.著者名	4 . 発行年
学阪直行編著	2015年
2.出版社	5.総ページ数
新曜社	384
3 . 書名	
ロボットと共生する社会脳 神経社会ロボット学 (社会脳シリーズ第9巻)	
	7V./= b-
1 . 著者名	4 . 発行年
学 阪直行編著	2015年
2 11454	L WY 20 2,5AF
2. 出版社	5.総ページ数
新曜社	408
つ まな	<u> </u>
3.書名	
成長し衰退する脳 神経発達学と神経加齢学 (社会脳シリーズ第8巻)	
	_
1 英字夕	1
1.著者名	4 . 発行年
学阪直行共著	2015年
	5.総ページ数
コロナ社	248
コロナ社	
コロナ社 3 . 書名	
コロナ社	
コロナ社 3 . 書名	
3.書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13)	248
3.書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1.著者名	248
3.書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13)	248
3.書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1.著者名	248
3.書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1.著者名	248
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	248 4.発行年 2016年
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	248
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数
3 . 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13) 1 . 著者名 Osaka, M.	4 . 発行年 2016年 5 . 総ページ数

1.著者名	4.発行年
Yaoi, K., Osaka, M., Osaka, N. (chapter 10)	2017年
` · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.出版社	5.総ページ数
Springer	276
3 . 書名	
The prefrontal cortex as an executive, emotional, and social brain	
•	
1. 著者名	4.発行年
苧阪直行編著	2020年
3 1/2 13 144	
2. 出版社	5.総ページ数
日本学術協力財団	203
E-1-3 (15)20/3/3/E	
3 . 書名	
社会脳から心を探る	
	4.発行年
Osaka, N.	2022年
odaka, ii.	2022—
2.出版社	5.総ページ数
Oxford University Press	257
oxioid directority (1635	
3 . 書名	
Brain, beauty and art: Essays bringing neuroaesthetics in focus	
Praint, beauty and art. Essays Pringing hearoacotherros in rocas	
1.著者名	4.発行年
	2018年
J MAIJ	2010 1
2.出版社	5.総ページ数
2 · 山版社	244
## H H IIII	
3 . 書名	
3 . 盲ロ エンタテインメントの科学	
ー エンファコングス ITW/ヤヤ于 	
1	1

〔産業財産権〕

[その他]

苧阪研究室 https://ha2.seikyou.ne.jp/home/Naoyuki.Osaka/		
ps://ha2.seikyou.ne.jp/home/Naoyuki.Usaka/		

	6	. 研究組織		
研究 (Ashida Hiroshi) 2 (20293847) (14301) 村井 俊哉 京都大学・医学研究科・教授 研究 (30335286) (14301)		(ローマ字氏名) (研究者番号)	(機関番号)	備考
(20293847)		蘆田 宏	京都大学・文学研究科・教授	
村井 俊哉 京都大学・医学研究科・教授 「Murai Toshiya (Murai Toshiya (Murai Toshiya (30335286 (14301)	研究分担者	(Ashida Hiroshi)		
研究 分 (Murai Toshiya) (Murai Toshiya) (30335286) (14301) で		(20293847)	(14301)	
(30335286) (14301)		村井 俊哉	京都大学・医学研究科・教授	
一	研究分担者	(Murai Toshiya)		
フター脳情報工学研究室・主任研究員 (Osaka Mariko) 担 者 (70144300) (82636) 坪見 博之 富山大学・人文学部・准教授 (Tsubomi Hiyoyuki) 担 者 (70447986) (13201) 船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日		(30335286)	(14301)	
研究 分担者 (70144300) (82636) 坪見 博之 富山大学・人文学部・准教授 研究 分力担者 (70447986) (13201) 船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日		苧阪 満里子	国立研究開発法人情報通信研究機構・脳情報通信融合研究セ	
坪見 博之 富山大学・人文学部・准教授 (Tsubomi Hiyoyuki) (Tsubomi Hiyoyuki) (70447986) (13201) 船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日	研究分担者	(Osaka Mariko)	ン ダー脳情報上字研究室・主任研究員	
研究 分担者 (70447986) (13201) 船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日			(82636)	
者 (70447986) (13201) (13201) 前橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日		坪見 博之	富山大学・人文学部・准教授	
船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日	研究分担者	(Tsubomi Hiyoyuki)		
船橋 新太郎 京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 削除:2018年7月4日		(70447986)	(13201)	
			京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授	削除:2018年7月4日
研究 (Funahashi Shintaro) 担者	研究分担者	(Funahashi Shintaro)		
(00145830) (14301)		(00145830)	(14301)	

6.研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	福山 秀直	京都大学・充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リー	
		ダー育成リーディング大学院・特任教授	
研			
究分	(Eukunyama Hidanaa)		
分担	(Fukuyama Hidenao)		
者			
	(90181297)	(14301)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------